

哲ちゃんの現場レポート

令和5年7月16日(日) **海上安全祈願祭** (金沢市)



海上自衛隊護衛艦ふゆづきの見学会。大陸から飛んでくる飛翔体一撃のミサイルなどの説明を聞いた。

令和5年8月11日(金・祝) **月浦町～神谷内町間の開通式** (金沢市)



金沢市神谷内付近はこれまで金沢北部の渋滞名所のような箇所だった。4車線化によりスムーズになる事が期待される。

令和5年9月24日(日) **障害者ふれあいフェスティバル** (金沢市)



開会式に県議会厚生文教委員会副委員長として出席。福祉施設スタッフなど手作りの販売、障害を持つ方々の作品などが展示され、賑わっていた。

令和5年10月4日(水)5日(木) (長野県・千歳県) **災害・県土強靱化対策特別委員会 行政調査**



信濃川復旧復興現場を視察

Tetsuya Nagata Profile

- 1959年9月26日金沢市生まれ、現在64歳。
- 野々市小学校～金沢市立額小学校、金沢市立額中学校(ハンドボール部)、石川県立金沢二水高校、立教大学卒業。
- 1984年北陸放送(株)入社。報道制作局アナウンサー。■2003年3月までTVニュースワイド(テレビ6)キャスター。また、記者として教育、スポーツ、経済などを担当したほか、ラジオパーソナリティとしても活動。
- 現在2期目。金沢市畝田東在住。 ■趣味はゴルフと愛犬の散歩。

会派 / 自由民主党石川県議会議員協議会
委員会 / 厚生文教委員会 副委員長 ●災害・県土強靱化対策特別委員会 委員

Nagata ナガタレポート 発行 長田哲也 事務所
〒920-0348 金沢市松村1丁目7 プラザハイム205号
TEL.076-208-3715 FAX.076-208-3716

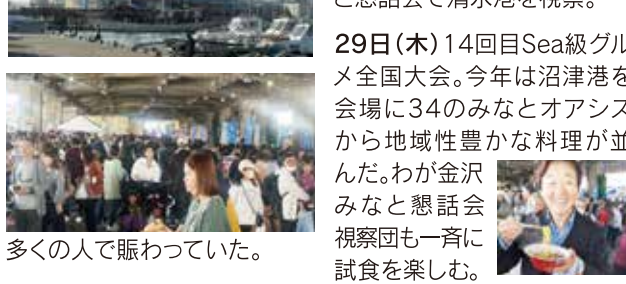
令和5年10月16日(月)17日(火) (栃木県) **新交通導入に向けて先進地域の視察**



16日(月)栃木県宇都宮市のLRTに乗り込む。床が低く設計されていて高齢者や車いすも利用しやすい「次世代型路面電車」といわれている。

17日(火)導入して1年の自動運転バスを視察。なんと操作はゲームコントローラーのみ。

令和5年10月28日(火)29日(木) (静岡県) **みなと懇話会視察**



28日(火)金沢港の今後の賑いを地域などで考える。みなと懇話会で清水港を視察。

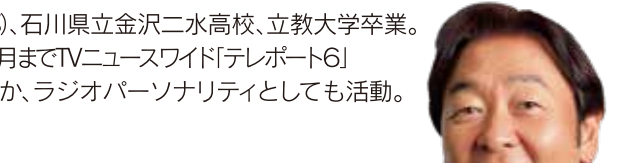
29日(木)14回目Sea級グルメ全国大会。今年は沼津港を会場に34のみなとオアシスから地域性豊かな料理が並んだ。わが金沢もみなと懇話会視察団も一斉に試食を楽しむ。

令和5年11月2日(木) **石川介護フェスタ2023** (金沢市)



介護福祉する側される側の理解を進める展示が盛り沢山。最新機器でリアルな体験で、介護する方も接し方が変わり超高齢社会へ大きな戦力として期待が高まった。

令和5年11月7日(火)8日(水)9日(木) **厚生文教委員会 行政視察** (東京・神奈川)



7日都立小台橋高等学校、港区子ども家庭総合支援センター
8日神奈川県動物愛護センター、鎌倉歴史文化交流センター
9日神奈川県社会福祉協議会を視察

私にできること。伝えるチカラで、思いをカタチに。



自由民主党/石川県議会議員 長田哲也 県政報告

Nagata Report

発行日 2023.12.2
VOL. 08

ごあいさつ

2期目に入った今年はコロナが沈静化したこともあり、様々なことが動き出しました。課題も次々と浮上ってきており、全力で取り組んでいます。

石川県議会議員 **長田哲也**

県議会6月定例会にて質問しました。 令和5年6月21日(水)に実施された第3回石川県議会(一般質問)にて

金沢港について

- ① 大型のクルーズ船の寄港へ、港内の浚渫が必要!
- ② クルーズターミナルに無人カートを導入しては?
- ③ 将来ビジョンに、地元の意見を反映しては?

観光振興策について

- ① インバウンドの観光客が回復しているが、台湾からの誘客は?
- ② 修学旅行の増加への対策は?
- ③ 文化観光推進へ

高齢者福祉について

- ① 県長寿社会プランについて
- ② 介護職員の確保について、ICT・IoT機器の導入支援は?

光熱費高騰対策について

- ① 銭湯や公共交通事業者への支援は?

無量寺ふ頭への大型のクルーズ船の寄港へ港内の浚渫について

無量寺ふ頭にメガ級のクルーズ船が寄港するには水深が足りなく、船が回転できないのがネック。今年入港の47本のクルーズ船の7割を超える5万人以上が大浜ふ頭に上陸し、クルーズターミナルは使われていない。海の玄関口の象徴はクルーズターミナルという位置づけが金沢港周辺の発展のためには欠かせないポイント。広範囲での港内の海底を深く掘る浚渫を求めたいが、見解を伺う。



土木部長 この先目指すべき姿を描く将来ビジョンの策定に向け、第1回の検討委員会を開催し、県民アンケートや企業、関係団体へのヒアリングも進めており、金沢港周辺の方々を含め、様々な意見を聞いている。浚渫範囲の拡大や金沢港周辺の土地の利活用も含め地元の皆様の思いもしっかりと聞き、将来ビジョンを取りまとめる。



ながたの感想 港内の浚渫とは言え、40億円を超える費用が見込まれ、簡単に「はい分かりました」とは言えるはずもなく、ねばり強く求めていくつもりです。

介護職員の確保について

なごたの感想 介護人材を確保するためには、介護現場で働く職員の負担軽減も早急に取り組むべき課題であるが、介護現場でのICT・IoTの活用について伺う。

健康福祉部長 本県の介護職員数は、国の調査によると令和3年に20,400人となっており、令和7年の目標23,000人に向けて幅広い方面からの参入促進と就業者の定着を二本柱に取り組んでいる。参入促進については、新たに外国人の雇用を後押しするため、事業者を対象としたセミナーや個別相談会を行う。定着促進に向けて、職員の負担を軽減するICT・IoT機器の導入支援や、介護未経験者への研修などの取り組みへの支援も実施しているところ。

なごたの感想 これからより需要が高まる介護人材の確保に向けて、環境や待遇問題などにも、さらに取り組みます。

光熱費高騰対策や銭湯支援について

なごたの感想 銭湯の入浴料金について、6月補正予算では光熱費の高騰対策として一施設当たり20万円の補助が計上され、関係者からの喜びの声も。ただ、一息しかつけないのも事実。求められるのは一過性の支援だけではなく、伴走型支援が必要ではないか?

なごたの感想 事業者の取組を支援するため、専門家派遣制度など伴走支援をする体制も整えている。今後とも、事業者の省エネ等の取り組みをしっかりと支援する。

健康福祉部長 スーパー銭湯の進出などにより利用者が減少、公衆浴場をより多く利用してもらう事で存続させていくことが大切。利用促進の取組に対し支援をしているところ。

なごたの感想 銭湯は地域の憩いの場であり拠り所。また災害時には避難所にもなります。みんなで利用し守っていきましょう。



台湾からの誘客は?

なごたの感想 台湾からの誘客に重点を置いた積極的な取り組みが大切だと思うが、県として今後どのような取り組みを行うのか。

馳知事 冬の対策としても現地旅行会社の招聘による旅行商品の造成強化を図るほか、次年度以降の誘客に向けて富山県、福井県とも連携し、11月に開催される台湾最大の旅行博覧会に出展し、北陸の魅力PRすることとしており、台湾からの誘客にしっかりと取り組む。

文化観光推進へ

なごたの感想 文化観光の面から、四高記念文化交流館のショップやレトロ衣装体験室を国民文化祭を待たずに早めにオープンさせ、こうしたにぎわいに一役買ってはと思うが、所見は?

馳知事 国際文化祭を前に、レトロ文化の発信拠点について、兼六園周辺文化の森における明治、大正期のレトロ文化の魅力発信に向け、四高記念文化交流館を発信拠点と位置づけ、新たにレトロ衣装体験室を整備するとともに、兼六園周辺文化の森に複数のフォトスポットを設けて、着物と袴の女学生スタイルなどで衣装体験や写真撮影を楽しめるようにする。



県議会9月定例会 予算委員会にて質疑。

令和5年9月26日(水)に実施された第4回石川県議会定例会予算委員会にて

金沢港と周辺設備について

なごたの感想 金沢港クルーズターミナルは乗船客の3割にしか利用されていない現状の中、周辺活性化へ向けて打開策を問う。

馳知事 港湾法も活用した分区制度を活用したり、エリアごとのにぎわいの創出であったり、交流施設を造るなどして観光に資する。また近くに大型のリゾート地も進出することから、こういった総合的ににぎわい創出、そして加賀と能登をつなぐ役割、同時に金沢の観光地はどちらかという兼六園周辺に集中しているため、その意味での分散化は金沢港周辺に図っていきたい。

なごたの感想 知事の私見ではあるが、あらかじめ分区(陸側)の言葉を引き出した成果は大きいと考えます。今後の地域の活性化が進む質問を繰り返していきたいと思います。



高齢者の社会参画と幸福度について

なごたの感想 長田哲也 少子高齢化社会、人生100年時代、この時代を迎えた今日、もう一度、コミュニティの在り方、老人クラブの意義を考え直し、高齢者の社会参画を改めて促す時期にも来ているのではないかと?

馳知事 身近な地域の中で仲間と一緒に行う老人クラブの活動は、健康づくりや文化の伝承、地域の見守りや環境美化活動などに参加することで健康増進が図られる。また、社会貢献をしている実感することで生きがいを見いだすことにつながり、仲間も増え、大変意義があると思う。今後とも、老人クラブの活動がさらに活発に行われるように支援し、充実した人生を送ることができると社会づくりを進めたい。私もぜひ、地域の老人クラブに参加したい。

なごたの感想 長田哲也 現役引退後も有意義なセカンドライフを送るには、高齢者が社会で活躍し続けられるような実践的な学びの場が必要。余暇をどう過ごすかではなく実践である。知事が目指す幸福度というのは一体何なのか?

馳知事 全ての県民が夢と希望を胸に未来に向かってチャレンジでき、誰一人取り残されることなく、一人一人が真の幸せを実感しながら健やかに安心して暮らすことができる「幸福度日本一の石川県」に向けて、積極果敢に取り組む。

なごたの感想 人生100年時代高齢者の社会参画なくしては、今後のわが国、地域は成り立たない、この意識を行政にしっかりと抱かせる。元氣な高齢者の皆さん共に立ち上がりましょう!